

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	①環境・エネルギー分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○島しょ地域における環境問題や再生可能エネルギーの技術交流・技術協力等
主な取組	島しょ間の環境課題に対する協力ネットワークの構築		対応する成果指標	国際会議等において知見を共有した海外地域の数
施策の方向	・持続可能な循環型社会を実現するため、クリーンエネルギー協力覚書を締結しているハワイ州等とも連携しながら、島しょ地域間の交流と協力体制の構築を目指すグローバルグリーンアイランドサミット（GGIS）フォーラム等の国際会議への参加や開催、海外研修生の受入れ等を通して、外来種問題、海洋ごみを含むごみ処理問題、再生可能エネルギーの導入促進など、島しょ地域における環境問題や再生可能エネルギーの技術交流・技術協力等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平成28年度に締結したグリーンアイランドパートナーシップ設立に関する合意書の内容(島しょ地域が直面する環境課題の認識及び島しょの持続可能な取組の強化等)を実現するため、世界の島しょ間協力ネットワークを構築する。	県, 濟州特別自治道, ハワイ州, 海南省, 等	国際会議(グローバルグリーンアイランドサミット)の開催、フォーラム等への参加		
		開催・参加回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部環境政策課	【 098-866-2183 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	グローバルグリーンアライアンスサミット (GGIS) 推進事業			予算事業名	グローバルグリーンアライアンスサミット (GGIS) 推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	24	256	県単等	直接実施	1,395
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>濟州特別自治道主催の「世界の地方自治体によるサイバー環境フォーラム」のWeb会議で本県の生物多様性の保全に関する取組について発表した。</p>				<p>濟州が主催する世界の地方自治体によるサイバー環境フォーラムに参加し、世界の島しょ地域等における環境課題に関する情報収集を行う。</p>		

活動指標名	開催・参加回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	Web開催のサイバー環境フォーラムに参加	Web開催のサイバー環境フォーラムに参加	Web開催のサイバー環境フォーラムに参加	1回 (2回)	100.0%	概ね順調	令和2年度以降、第2回GGISフォーラムが開催されていないため、代わりに濟州主催のWeb会議に参加することで、島しょ地域や国際機関等の環境課題に関する情報収集ができた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

濟州が主催するWeb会議への参加により、島しょ地域や国際機関等の環境課題に関する情報収集ができたことからおおむね順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○第2回GGISフォーラムの開催に向け、Web会議等も活用し、国際協力体制の維持を図る。</p> <p>○他課の英語が堪能な職員に協力を依頼。</p>	<p>○パートナーシップを結んだ濟州のネットワークを活用したWeb会議への参加により、島しょ地域や国際機関等と環境課題に関する情報共有を図ることができた。</p> <p>○通訳業務委託を行うことで、濟州や国際機関等が参加するWeb会議で沖縄県の生物多様性保全の取組について発表し、相互に情報共有を図ることができた。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	令和2年度以降、フォーラムが開催されていない。事務局であるハワイがどのように進めるか未定。	② 連携の強化・改善	関係が継続している済州と引き続き連携し、島しょ地域の環境課題に関する情報収集等を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	①環境・エネルギー分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○赤土等流出防止対策技術に関する情報発信や技術移転
主な取組	赤土等流出防止対策技術に関する情報発信の強化		対応する成果指標	国際会議等において知見を共有した海外地域の数
施策の方向	・ 土壌流出は東南アジアや太平洋島しょ国等でも問題になっていることから、本県の赤土等流出防止対策技術に関する情報発信や技術移転等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
土壌流出は東南アジアや太平洋島しょ国等でも問題になっていることから、本県の赤土等流出防止対策技術に関する情報発信や技術移転等に取り組む。	県	条例、指針、技術関連資料の英訳とホームページでの公開		
		ホームページで公開する英訳した赤土等流出防止対策関連資料の件数(累計)		
		3件	4件(7件)	4件(11件)
担当部課【連絡先】	環境部環境保全課	【 098-866-2236 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/index.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/index.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 赤土等流出防止対策推進事業				予算事業名 赤土等流出防止対策推進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	9,368	9,863	県単等	直接実施	14,621
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
赤土等流出防止対策技術に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載する。				赤土等流出防止対策技術に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載する。		

活動指標名	ホームページで公開する英訳した赤土等流出防止対策関連資料の件数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	3件	4件	4件(7件)	100.0%	順調	赤土等流出による影響、赤土等流出問題に関する歴史、沖縄県の赤土等流出の現況、赤土等マスコットキャラクター「もっちゃん」の英語版資料を県HPで公表した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
赤土等流出による悪影響、赤土等流出問題に関する歴史、沖縄県の赤土等流出の現況、赤土等マスコットキャラクター「もっちゃん」の英語版資料を県HPで公表した。条例等の英語版資料を公表したことにより、赤土等流出のメカニズムや県の取組について広く情報を発信できた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○既存の赤土等流出防止対策技術等に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載し、広く情報を発信する。	既存の赤土等流出防止対策技術等に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載し、広く情報を発信した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	赤土等流出防止対策技術に関する英語版資料がなく、既存資料等の英訳等が必要になる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、既存の赤土等流出防止対策技術等に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載し、広く情報を発信する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施策	①環境・エネルギー分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○国立沖縄自然史博物館の設置促進
主な取組	国立沖縄自然史博物館誘致に係るイベント開催		対応する成果指標	国際会議等において知見を共有した海外地域の数
施策の方向	・東アジア、東南アジア全体の自然史科学を支える研究及び人材育成の拠点となる「国立沖縄自然史博物館」の県内への誘致に向けて、シンポジウムの開催や関係団体等への説明会の開催など、県民の気運醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県に国立自然史博物館を誘致するため、国への要請、シンポジウムや関係団体等への説明会など、機運醸成に向けた取組を実施する。	県	認知度の向上及び機運醸成を図るためのシンポジウム・企画展等周知啓発イベントの開催		
		シンポジウム等周知啓発イベントの開催数(累計)		
		5回	5回(10回)	5回(15回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2243 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/shizenshih-akubutsukan.html">https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/shizenshih-akubutsukan.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業			予算事業名	国立自然史博物館誘致推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	27,268	30,571	県単等	委託	35,842
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
東京でのシンポジウム、県内でのシンポジウム、県内5圏域での企画展を実施した。				県内シンポジウム、県内5圏域での企画展や周知イベントを行う。		

活動指標名	シンポジウム等周知啓発イベントの開催数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		2回	7回	9回	5回(10回)	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度は、シンポジウム(2回)、企画展(7回)を合計9回開催し、目標値を上回った。県内シンポジウムに約330名、東京シンポジウムに約380名(オンライン含む)の参加があるなど、機運醸成が図られた

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○県主催のシンポジウム等の対象を県外にも広げて開催するなど、継続して取り組み、認知度の向上および機運醸成を図る。	○県内シンポジウムや企画展などの継続した取組に加え、東京シンポジウムを開催することで、認知度の向上及び機運醸成を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	引き続き、普及啓発に取り組み、更なる認知度の向上及び機運醸成を図っていく必要がある。	② 連携の強化・改善	大型商業施設などでのイベントを行うなど、普及啓発方法を工夫しながら、更なる認知度の向上及び機運醸成を図る。